

## 株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

証券コード 7856

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで

定時株主総会 1月

基準日 定時株主総会 10月31日

期末配当 10月31日

中間配当 4月30日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告

当社ホームページアドレス <http://www.hagihara.co.jp/>

※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<http://www.hagihara.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、当社に関するさまざまな情報がご覧いただけます。



**HAGIHARA**  
HAGIHARA INDUSTRIES INC.

第53期

## 中間報告書

平成26年11月1日～平成27年4月30日

**HAGIHARA**  
萩原工業株式会社

萩原工業株式会社



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、ここに第53期中間報告書をお届けするにあたり、当社の概況についてご報告申し上げます。

### 業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、生産や輸出に持ち直しの動きが見られるなど、全体としては緩やかな回復基調が続くものの、海外景気の下振れリスクを抱えながら推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「新たな創業へ、奮起せよパイオニア精神」を基本方針とする中期経営計画（MI53）の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高109億97百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益11億48百万円（前年同四半期比1.9%増）、経常利益11億96百万円（前年同四半期比5.4%増）、当第2四半期純利益7億23百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

### 合成樹脂加工製品事業

合成樹脂加工製品事業におきましては、消費税率引き上げに伴う需要不振が長引き、また円安による輸入品価格の上昇や、原料価格の下落を受けた製品の買い控えの動きなどもあり、国内販売は厳しい状況が続きました。また海外向けでは、ラミクロスシートは堅調に推移したものの、コンクリート補強繊維は世界的な資源価格の下落を受け需要が低調でした。利益面では、販売の伸び悩みに伴い工場稼働率が低下、固定費の削減に努めたものの補いきれず減益となりました。インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、コンクリート補強繊維は不調なものの不採算製品の縮小で前年同四半期比増益、中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、円安に伴う日本向け輸出シートの販売減により前年同四半期比減益となりました。

その結果、売上高86億14百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益8億55百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

### 機械製品事業

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、フィルム分野では食品関連の軟包装用及び二次電池用が、紙分野ではラベル用及びビジネスフォーム用が堅調に推移しましたが、東南アジア向けは、安価な海外製との競争により厳しい事業環境が続いております。

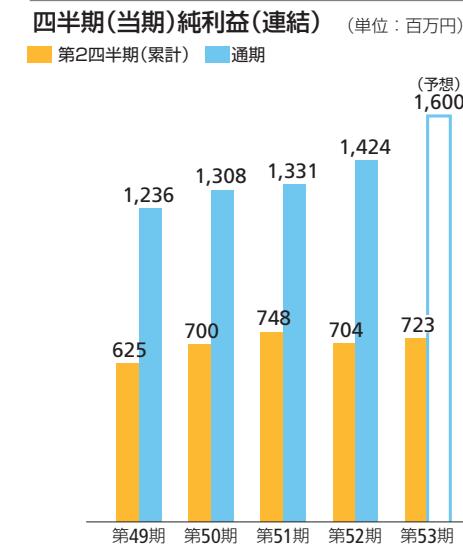
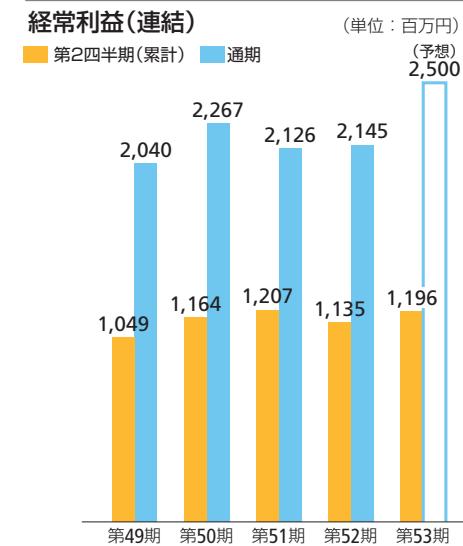
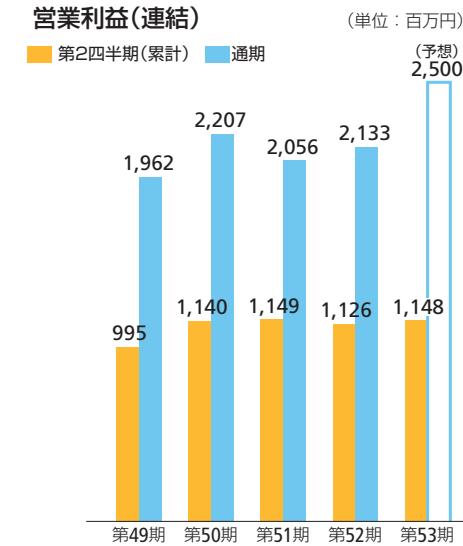
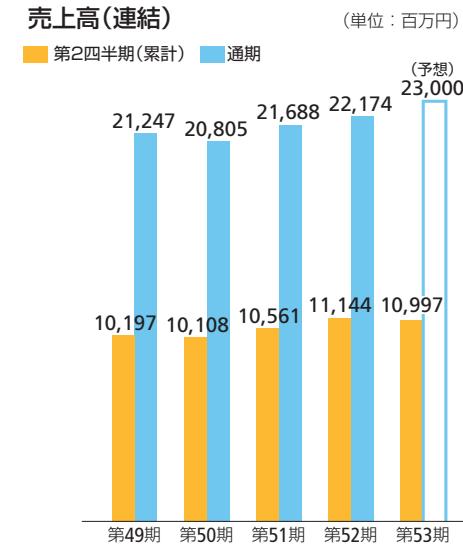
押出関連機器及びリサイクル関連機器は、食品容器用及び高機能樹脂用が堅調に推移いたしました。

その結果、売上高23億83百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益2億92百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

株主の皆様には、引き続きご支援ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 萩原 邦章



#### 平成27年10月期 第2四半期決算サマリー(連結)

- 売上高 **109億97**百万円  
前年同四半期比 **1.3%**減
- 営業利益 **11億48**百万円  
前年同四半期比 **1.9%**増
- 経常利益 **11億96**百万円  
前年同四半期比 **5.4%**増
- 四半期純利益 **7億23**百万円  
前年同四半期比 **2.6%**増

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成26年4月30日現在	当第2四半期 平成27年4月30日現在	前期 平成26年10月31日現在
<b>資産の部</b>			
<b>Point 1</b> 流動資産	14,107	15,064	14,801
<b>Point 2</b> 固定資産	9,001	9,304	9,209
有形固定資産	6,859	7,232	6,930
無形固定資産	255	199	235
投資その他の資産	1,885	1,872	2,043
資産合計	23,109	24,368	24,011
<b>負債の部</b>			
<b>Point 3</b> 流動負債	6,080	5,831	6,203
<b>Point 3</b> 固定負債	1,518	1,531	1,378
負債合計	7,599	7,363	7,581
<b>純資産の部</b>			
株主資本	15,317	16,191	15,888
資本金	1,778	1,778	1,778
資本剰余金	1,393	1,393	1,393
利益剰余金	12,148	13,023	12,719
自己株式	△ 2	△ 2	△ 2
その他の包括利益累計額	191	812	540
その他有価証券評価差額金	14	36	24
繰延ヘッジ損益	10	68	8
為替換算調整勘定	166	507	293
退職給付に係る調整累計額	—	199	213
少数株主持分	0	1	0
純資産合計	15,509	17,005	16,430
負債純資産合計	23,109	24,368	24,011

**Point 1** 流動資産

流動資産は、たな卸資産が増加したこと等により前期末に比べて増加し、150億64百万円となりました。

**Point 2** 固定資産

有形固定資産が増加したこと等により前期末に比べて増加し、93億4百万円となりました。

**Point 3** 流動負債、固定負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が減少したこと等により前期末に比べて減少し、58億31百万円となりました。  
固定負債は、長期借入金が増加したこと等により前期末に比べて増加し、15億31百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成25年11月1日 至平成26年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成26年11月1日 至平成27年4月30日	前期 自平成25年11月1日 至平成26年10月31日
売上高	11,144	10,997	22,174
売上原価	8,265	8,074	16,505
売上総利益	2,879	2,922	5,668
販売費及び一般管理費	1,752	1,774	3,534
<b>Point 4</b> 営業利益	1,126	1,148	2,133
営業外収益	53	102	125
営業外費用	45	53	113
<b>Point 4</b> 経常利益	1,135	1,196	2,145
特別利益	—	—	105
特別損失	—	44	14
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,135	1,152	2,236
法人税等	430	429	811
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	704	723	1,424
少数株主利益	0	0	0
<b>Point 4</b> 四半期(当期)純利益	704	723	1,424

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 4** 営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益

継続的な新製品の市場投入に加え、戦略製品へ積極的に展開した結果、営業利益11億48百万円、経常利益11億96百万円、四半期純利益7億23百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成25年11月1日 至平成26年4月30日	当第2四半期(累計) 自平成26年11月1日 至平成27年4月30日	前期 自平成25年11月1日 至平成26年10月31日
<b>Point 5</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	1,580	559	2,870
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 698	△ 438	△ 1,444
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 503	△ 252	△ 970
現金及び現金同等物に 係る換算差額	7	13	20
現金及び現金同等物の 増減額	386	△ 118	476
現金及び現金同等物の 期首残高	2,832	3,308	2,832
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	3,219	3,189	3,308

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 5** 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費及び売上債権の減少等による資金の増加とたな卸資産の増加及び仕入債務の減少等による資金の減少で、5億59百万円のプラスとなりました。

## 合成樹脂加工製品事業

## ブルーシートをネパール被災地へ

平成27年4月にネパールで発生した大規模地震に際し、岡山県に本部を置く国際医療ボランティア団体「AMDA（アムダ）」を通じて、ブルーシート100枚を寄贈いたしました。

現地では損壊した家屋の応急処置のほか本格的な雨季に向けて、雨風をしのぐ仮設テントの設置が急がれており、ブルーシートの必要性が高まっております。

今後も製品を通じて人々の生活に貢献してまいります。



## 機械製品事業

## 新規開発機「ラップフィルム用自動ワインダー」を見本市に初出展

平成27年1月、東京ビッグサイトで開催された加工技術が集う見本市「Convertech JAPAN 2015」に、新製品の「ラップフィルム用自動ワインダー」を出展いたしました。ラップフィルム用自動ワインダーは、食品や業務用ラップフィルム分野という新規市場への参入を目的に開発を行い、平成26年秋に上市、今回の見本市で初出展となりました。

会期中は、デモンストレーションを実施する事で多数のお客様にご来場頂き、高評価を得ると共に、新規市場参入の手応えを感じる事が出来ました。本見本市にて具体的な引き合いを頂き、商談が進んでおります。

今後も製販一体となり、新規市場へラップフィルム用自動ワインダーを拡販してまいります。



## ■株式に関する事項

(平成27年4月30日現在)

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	7,448,800株
単元株式数	100株
株主数	2,504名

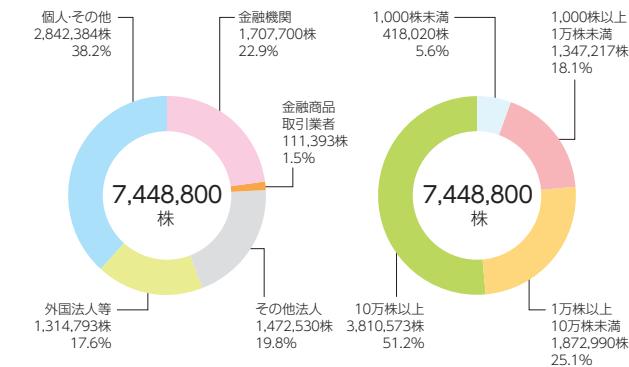
## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	927	12.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	624	8.38
日本ポリケム株式会社	305	4.09
萩原工業従業員持株会	275	3.69
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	264	3.54
萩原邦章	263	3.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	256	3.43
萩原賦一	197	2.64
DEUTSCHE BANK AG LONDON- PB NON-TREATY CLIENTS 613	133	1.78
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	130	1.74

## ■株式分布状況

(平成27年4月30日現在)

## 所有者別株式分布状況



## ■会社概要

(平成27年4月30日現在)

商号	萩原工業株式会社
本社	〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
	TEL.086-440-0860
	FAX.086-440-0869

設立 昭和37年（1962年）11月29日

資本金 17億78百万円

従業員数 420名

主な事業内容 ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

## ■役員

(平成27年4月30日現在)

## 【取締役】

代表取締役社長	社長執行役員	萩原 邦章
取締役	専務執行役員	田中 稔一
取締役	常務執行役員	道廣 和生
取締役	常務執行役員	浅野 和志
取締役	執行役員	笹原 義博
社外取締役		秋草 史幸

## 【監査役】

常勤監査役		吉川 龍男
監査役		中原 裕二
監査役		石井 辰彦

## 【執行役員】

執行役員	浅野 幾弘
執行役員	依田 伸二
執行役員	小合 秀明
執行役員	飯山 辰彦
執行役員	山本 実治
執行役員	吉田 淳一